

広域圏だより

環境センターの廃棄物処理施設の現状についてお知らせします

廃棄物処理施設は、私たちの快適な暮らしや経済活動に欠くことのできない重要な施設です。

環境センターの処理施設は、建設から長年が経過して老朽化が進んできています。現在の施設を安定稼働するための対策や新たな施設整備の検討を進めていきます。

また、処理施設の効率的かつ安定的な運営に向けて、平成25年度から廃棄物処理施設の運転管理の民間委託を順次進めていきます。

し尿処理施設



主要な生物処理施設は昭和55年1月に竣工し、33年間し尿を処理しています。

ごみ焼却処理施設



昭和63年12月に竣工、24年間ごみを焼却しています。

ごみ破碎処理施設



昭和53年3月に竣工し、34年間燃やせないごみを処理しています。

沼平第2最終処分場



平成15年度から埋立処分を開始して、15万 m^3 の埋立地は半分以上埋め立てられています。

廃棄物処理の状況について

し尿処理施設

施設概要	第1処理施設	第2処理施設	
	126kl/日	100kl/日	
	1次処理 好気性消化		
	2次処理 活性汚泥		
高度(3次)処理			
着工	昭和53年6月		
竣工	昭和55年1月		
処理実績			
年度	21	22	23
汲取りし尿	44,939	43,722	42,984
浄化槽汚泥	35,199	35,951	37,116
合計(KL)	80,138	79,673	80,100

ごみ焼却処理施設

施設概要	全連続燃焼式機械炉		
	ストーカ方式		
	225t/24時間 (75t/24時間×3炉)		
着工	昭和61年6月		
竣工	昭和63年12月		
処理実績			
年度	21	22	23
家庭系	42,151	41,277	43,086
事業系	18,591	18,542	18,884
場内可燃物	4,597	4,822	4,909
合計(t)	65,339	64,641	66,879

ごみ破碎処理施設

施設概要	圧縮せん断衝撃破碎方式		
	50t/5時間		
着工	昭和52年7月		
竣工	昭和53年3月		
処理実績			
年度	21	22	23
家庭系	3,113	3,213	3,433
事業系	170	222	213
産業廃棄物	424	408	473
合計(t)	3,707	3,843	4,119

沼平第2最終処分場

施設概要	埋立容量 151,480 ^m		
	二重遮水シート構造		
	浸出水処理施設 40 ^m /日		
着工	平成12年3月		
竣工	平成14年3月		
処理実績			
年度	21	22	23
埋立量(^m)	9,115	9,035	8,688
累計(^m)	61,883	70,918	79,606

ごみの減量にご協力ください



焼却炉内部のレンガ修繕の様子

環境センターでは、老朽化した施設の修繕を実施しながら安定した処理の確保に努めていますが、施設の処理能力は低下してきています。ごみ焼却処理施設は100%に近い稼働をしています。修繕の工事期間中は、ごみの受入にかなりの時間がかかります。



構内に渋滞する収集車の様子

施設設備の状況について

設備等	状況	対応
し尿処理 	し尿処理の工程で汚水を水と污泥に分離する設備です。長年の使用により腐食している状況です。このほか、各種機器類、水槽も老朽化が進んでいます。	し尿処理施設は概ね19～30年で更新されています。本施設はすでに33年を経過していることから、当面のメンテナンスと更新について検討していきます。
ごみ焼却処理 	焼却炉の内部は、床面が鋳物の火格子 <small>ひごし</small> になっています。これは火格子が焼損により減肉、劣化した状況です。	ごみ焼却処理施設は概ね25～30年で更新されています。本施設は25年を経過しますが、基幹的設備の改修によるメンテナンスと更新について検討していきます。
ごみ破碎処理 	破碎機本体の内部では鋼鉄の22個のハンマーが高速回転して、燃やせないごみを砕いています。 ハンマーが摩耗して角が丸くなっています。	ごみ破碎処理施設は概ね20～24年で更新されています。平成9年度に基幹的設備を改修しましたが、34年を経過することから当面のメンテナンスと更新について検討していきます。
最終処分場 	埋立地は遮水シートで覆われた構造となっています。全体で約15万㎡の容積ですが、半分以上の8万㎡が埋立てられました。	埋立地は今後9年程で終了する見込みとなることから、新たな最終処分場の確保に向けた取組を進めていきます。

環境センターの取組みについて

廃棄物処理の経費は、ごみを持ち込む事業所からの手数料や市町村からの負担金で賄われています。

環境センターでは、これまで処理経費を抑制するために施設運営の効率化、人件費の抑制に努めてきましたが、運転管理を担う職員の退職や高齢化が進んできています。

現在、ごみ焼却処理施設の運転管理業務については、平成25年度から民間に一部委託していく計画を進めており、今後も廃棄物処理施設のより効率的かつ安定的な運営に向けて取組んでいきます。

消防本部からのお知らせ

ホームページ (<http://www.119-aizu.jp/>)

救急車の適正利用にご協力をお願いします

急いで救急車を

- ・急に倒れた、意識がない
- ・激しい頭痛、胸痛、腹痛など
- ・交通事故による負傷
- ・息苦しそう、呼吸をしていない
- ・けいれんが続いている
- ・広い範囲でやけどしたとき

ご遠慮下さい

- ・病院で待たされるのがいやだから
- ・入院、通院のためのタクシー代り
- ・救急車はタダだから

こんなときは考えて

- ・緊急性のない軽いケガ、病気(手足のすりキズ、風邪、歯痛、酒酔いなど)



住宅用火災警報器の設置はお済みですか?

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。尊い命や財産を守るため、未設置のお宅は早めに設置しましょう。

設置場所 寝室、階段(2階に寝室がある場合)。また、台所等にも推奨しています。

ご注意ください!

消防職員等が訪問し、火災警報器や消火器などを販売することはありませんので、**不適正な訪問販売等に注意**してください。



問い合わせ先：消防本部予防課 TEL 0242-59-1403

整備組合の決算 (一般会計及び水道用水供給事業会計)

平成23年度一般会計決算

(単位：円)

歳 入		歳 出	
区 分	決算額	区 分	決算額
分担金及び負担金(構成市町村から)	4,346,314,625	議会費(議会の運営)	3,616,668
使用料及び手数料(燃やせるごみ手数料など)	235,931,370	総務費(事務局の運営)	261,810,518
国庫支出金(国からの補助金)	97,458,111	民生費(介護認定審査会の運営)	50,328,860
県支出金(県からの補助金・委託金)	1,951,925	衛生費(廃棄物処理業務)	1,363,516,983
財産収入(財産運用利子など)	3,041,975	消防費(消防・救急業務)	3,034,460,777
繰入金(基金等からの繰入金)	67,341,801	公債費(借入金の返済)	580,642,561
繰越金(前年度からの繰越金)	296,656,742		
諸収入(預金利子など)	79,970,836		
組合債	290,100,000		
歳入合計	5,418,767,385	歳出合計	5,294,376,367

平成23年度水道用水供給事業会計決算

(単位：円)

収益的収入		収益的支出	
区 分	決算額	区 分	決算額
第1款 用水供給事業収益	729,885,267	第1款 用水供給事業費用	524,836,956
第1項 営業収益(用水料金)	701,388,660	第1項 営業費用(浄水場の運営費用)	418,709,837
第2項 営業外収益(構成団体繰入金等)	28,493,258	第2項 営業外費用(償還金に係る利息等)	106,123,204
第3項 特別利益(過年度収入)	3,349	第3項 特別損失(過年度支出)	3,915

資本的収入		資本的支出	
区 分	決算額	区 分	決算額
第1款 資本的収入	68,660,000	第1款 資本的支出	359,693,759
第1項 補助金(構成団体繰入金)	68,660,000	第1項 建設改良費(浄水場の設備費用)	5,680,500
		第2項 企業債償還金(借入金の元金)	354,013,259

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額291,033,759円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額270,500円、過年度分損益勘定留保資金48,676,256円、当年度分損益勘定留保資金162,490,314円及び減債積立金79,596,689円で補填した。

《編集・発行》

会津若松地方広域市町村圏整備組合

〒965-0037 会津若松市中央三丁目10番12号
 TEL0242-24-6311 Fax0242-24-6313
 ホームページ<http://www.aizu-kouiki.jp/> E-mail aizu-kouiki1@119-aizu.jp